

報告 後奏 感謝祈祷	祝禱	頌栄	献金	賛美	説教	聖書朗読	使徒信条	礼拝祈祷	交誦	主の祈り	賛美	賛美	「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」アーメン	前奏	招詞	詩篇46篇10節	2月5日 聖日礼拝
		聖歌376	新聖歌298	荻野泰弘牧師	ですから、キリスト・イエスにある恵みによって	テモテへの手紙第二 2章1〜10節		詩篇147篇1〜11節			神の国と神の義を(2回)	聖歌64					

■聖歌64「神の賜う愛」

- ①神のたもう愛 あまつ喜び 恵みに満ちたる あがないぬしよ  
み前にひれふし 祈るわれらに またき み救いを もたらしたまえ
- ②おののく われらに きよき御<sup>みたま</sup>霊を ふきいれ やすきに 導きたまえ  
みむねに逆ろう 思いをのぞき かわらず ただ主を 慕わせたまえ
- ③力もて臨<sup>のぞ</sup>み われらのうちに みくらいをさだめ とどまりたまえ  
日々主をかしこみ 日々主に仕え 日々主を愛して 過ごさせたまえ
- ④またき み救いの くしきみわぎに 造り変えたまえ けがれなき身と  
御<sup>みくに</sup>国に のぼりて み顔を拝し 限りなく生くる ものと したまえ

■神の国と神の義を

神の国と神の義を まず求めなさい  
そうすればみな与えられる ハレル ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御國をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇147篇1～11節

1 ハレルヤ。

まことに われらの神にほめ歌を歌うのは良い。

まことに楽しく 賛美は美しい。

2 主はエルサレムを建て

イスラエルの散らされた者たちを集められる。

3 主は心の打ち砕かれた者を癒やし

彼らの傷を包まれる。

4 主は星の数を数え

そのすべてに名をつけられる。

5 われらの主は偉大であり 力強く

その英知は測り知れない。

6 主は心の貧しい者を支え

悪（あ）しき者を地面に引き降ろされる。

7 感謝をもって主に歌え。

豎琴（たてごと）に合わせて われらの神にほめ歌を歌え。

8 神は濃い雲で天をおおい

地のために雨を備え

また 山々に草を生（は）えさせ

9 獣に また 鳴く鳥（からす）の子に

食物を与える方。

10 神は馬の力を喜ばず

人の足の速さを好まれない。

11 主を恐れる者と

御恵みを待ち望む者とを主は好まれる。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 テモテへの手紙第二 2章1～10節

- 1 ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。
- 2 多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。
- 3 キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをともにしてください。
- 4 兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わされることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせようとしています。
- 5 また、競技をする人も、規定にしたがって競技をしなければ栄冠を得ることはできません。
- 6 労苦している農夫こそ、最初に収穫の分け前にあずかるべきです。
- 7 私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに与えてくださいます。
- 8 イエス・キリストのことを心に留めていなさい。私が伝える福音によれば、この方は、ダビデの子孫として生まれ、死者の中からよみがえった方です。
- 9 この福音のために私は苦しみを受け、犯罪者のようにつながれています。しかし、神のことばはつながれていません。
- 10 ですから私はすべてのことを、選ばれた人たちのために耐え忍びます。彼らもまた、キリスト・イエスにある救いを、永遠の栄光とともに受けるようになるためです。

■新聖歌 298 「主に任せよ」

①主に任せよ 汝（な）が身を 主は喜び 助けまさん  
忍びて 春を待て 雪は解けて 花は咲かん  
嵐にも 闇にも ただ任せよ 汝（な）が身を

②主に任せよ 汝（な）が身を 主は喜び 助けまさん  
悩みは 強くとも 御恵みには 勝つをえじ  
まことなる 主の手に ただ任せよ 汝（な）が身を

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず  
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン